

○ミツバツツジ類 3 種の学名変更 (山崎 敬) Takasi YAMAZAKI: Nomenclatural change on three taxa of *Rhododendron* sect. *Brachycalyx*

先にヤクシマミツバツツジをサイゴクミツバツツジの亜種として、ヒュウガミツバツツジとアマクサミツバツツジをタカクマミツバツツジの変種として報告した。これら 3 群は明瞭な特徴をもっていて、それぞれ独立の種としてもおかしくないが、日本のミツバツツジ類が多くの種類に分けられて、細分される傾向があるので種の段階のものとして扱わなかった。しかし独立種としてもおかしくないで、あらためて学名の変更をしておく。種とするか変種とするかは見解の問題であり、群相互の類縁関係の実体には変わりがない。

Rhododendron yakumontanum (Yamazaki) Yamazaki, stat. nov.

Rhododendron nudipes Nakai subsp. *yakumontanum* Yamazaki in Journ. Jap. Bot. 56: 364 (1981).

Distr. Kyushu, Is. Yakushima.

Rhododendron hyugaense (Yamazaki) Yamazaki, stat. nov.

Rhododendron viscostylum Nakai var. *hyugaense* Yamazaki in Journ. Jap. Bot. 59: 208 (1984).

Distr. Kyushu (Prefs. Ohita, Miyazaki, Kumamoto and Kagoshima).

Rhododendron amakusaense (Takada ex Yamazaki) Yamazaki, stat. nov.

Rhododendron viscostylum Nakai var. *amakusaense* Yamazaki in Journ. Jap. Bot. 59: 208 (1984).

Distr. Kyushu, Isls. Amakusa.

(東京大学 理学部附属植物園)

□小山鐵夫：資源植物学—研究方法への手引き 208 pp. 1984. 講談社, 東京. ¥3,500. 現在, 世界的視野から資源植物の保護や利用, 研究開発などについて, その重要性が論じられている。本書は, このような時代の趨勢をふまえ, 長年にわたり著者が広く世界各地を踏査し, 蓄積された多くのデータを駆使して執筆されたもので, 正に時機を得た出版といえよう。主な内容を挙げると, 1. 植物資源, 2. 資源植物のインベントリー研究, 3. 資源植物の保存, 4. 未開発ならびに開発中の有用植物などで, これらに関連して植物園や標本館の重要性, そのあり方にも言及している。この種の類書が, 現在まで我国で出版されていなかっただけに, 植物学, 農学, 園芸学, 薬学のみならず, 斯学に関係深い遺伝子プールの問題やバイオテクノロジーなどに携わる方々や, 学生のテキストとしても活用されることであろう。

(浅井康宏)